

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	湘南鎌倉医療大学(仮称)	階数	地上4F
建設地	神奈川県鎌倉市山崎1202番地1	構造	RC造
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	600人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,445時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2018年10月17日
敷地面積	6,632 m ²	作成者	株式会社DESIGNSHIP
建築面積	3,135 m ²	確認日	2018年10月17日
延床面積	8,450 m ²	確認者	株式会社DESIGNSHIP



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

92 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
鎌倉らしさ、豊かな自然、歴史のある街並みを大切に、周辺環境に馴染む学校環境をつくる事に留意した。敷地の現況を生かし、造成を極力減らす配置計画とし、周囲から十分引きを取った空地を確保し豊かな植栽地とした。建築面積、延床面積を押さえて、建物高さも4層にとどめ、ボリューム感、圧迫感のない建物となるように留意した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
断熱材の強化により外皮性能を上げるなど温熱環境に配慮している。昼光率を高めに設定し光・視環境に配慮している。F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。	天井高を高くするなど心理性・快適性に配慮している。階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。内外装共防汚性に配慮した材料を使用するなど維持管理に配慮している。	敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。体育館を一般開放、ポケットパーク、敷地内通り抜け通路を設けるなど地域活動に貢献している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。LED照明、高効率給湯器を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	省水型機器を用いるなど水資源を保護している。可動間仕切りを採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	ライフサイクルCO ₂ 排出率を8.6%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。駐輪場・駐車場を確保し利便性に配慮、管理用車両の駐車施設を確保するなど交通負荷の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される